


三条教区通信

第118号

発行日 2017年5月1日
発行者 三条教務所長 森田成美
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

だいしんじん ぶっしょう

大信心は仏性なり

ぶっしょう

によらい

仏性すなわち如来なり

『浄土和讃』親鸞聖人

The great entrusting heart is itself Buddha-nature,
Buddha-nature is none other than Tathagata.

Hymns of the Pure Land, Shinran Shōnin

三条教区災害対策委員会のお知らせ

熊本地震 糸魚川大規模火災により被災された皆様
心よりお見舞い申し上げます

2016(平成 28)年熊本地震について、教区内寺院・教会
をはじめ有縁の皆様から募りました救援金は、2017年5月1
日現在で総額6,420,505円となりました。2016年6月30日
付で4,097,161円、11月30日付で1,615,671円を送金い
たしましたことをご報告申し上げます。救援金は現在も受付
を継続させていただいておりますので、引き続きご協力賜り
ますよう、何卒、お願い申し上げます。

また、東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月
30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教
区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援
活動資金3,825,805円)。2015年度より、東日本大震災救
援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けい
たしており、現在までにご協力いただいた金額は452,139
円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご
協力をお願い申し上げます。

研修会のご案内

■ 新任教師研修会

開催案内既送

- ◆日時 2017年5月21日(日)～22日(月)
- ◆会場 教区同朋会館
- ◆講師 竹橋 太氏(儀式指導研究所研究員)

- ◆講題 「真宗の教えと儀式」
- ◆参加費 4,000円(夕食・朝食、懇親会費、宿泊冥加金含む)
- ◆対象 大谷派教師資格取得後5年以内の方または寺院に戻って5年以内の方、その他、受講を希望される大谷派教師の方。

■ 新潟地区女性研修会

開催案内既送

- ◆日時 2017年5月30日(火) 9:30～15:00
- ◆場所 第20組 常明寺
- ◆講師 齊藤 研氏(第15組正樂寺)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食代を含む)
- ◆申込み 5月19日(金)まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 「差別と真宗」基礎講座

開催案内同封

- ◆日時 2017年6月7日(水) 13:30～16:30
- ◆場所 第14組光傳寺
- ◆講師 村山 教二氏(『差別と真宗』共学研修会部門スタッフ)
- ◆テーマ 「何故、部落差別問題が真宗門徒の信心の課題となるのか」
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

■ 別院フォーラム 御坊市 2017

開催案内同封

- ◆日時 2017年6月10日(土)、11日(日)10:00～16:00
- ◆場所 三条別院
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 推進員・育成員共学研修会

開催案内同封

- ◆日時 ①2017年6月27日(火) 13:30～16:30
②2017年6月30日(金) 13:30～16:30
- ◆場所 ①第15組浄覺寺、②第10組聞光寺
- ◆講師 田澤一明氏(第19組 明誓寺)
- ◆対象 広く推進員・育成員の皆様
- ◆申込み 事前申し込み不要
- ◆その他 ①・②は同じ内容です。ご都合に合わせてお越しください
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

■ 教区女性研修会報告

女性研修会部門スタッフ 金巻拾子

3月10日(金)、数日続く寒の戻りの雪空に別院近隣は降り積もった雪で白一色となり、そんな足元の悪い中、三条別院旧御堂を会場に「教区女性研修会」を開催しました。

女性研修会部門では、今期(2016～2018年度)3年間の

研修テーマを『「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～』と定めてスタッフ学習会や地区研修会を行っており、今回の教区女性研修会も同テーマを講題として、小松教区より上杉彰子氏を講師にお迎えしました。

上杉氏は、講義が始まって開口一番に「研修会と聴聞はどう違うのか？」を私たちに問われました。改めて問われたそのことに、はっきりと答えられず、「うーん…？」と考えさせられたのは私だけだったのでしょうか？

またその他にも、「人身受け難しとは？」「聴聞するとは？」「この身に聞くとは？」「後生の一大事とは？」「五障三従の三従とは？」など様々な問いかけが上杉氏から参加者に向けられ、参加者との和やかで良い雰囲気の中、言葉のキャッチボールが行われました。

午後の班別座談では、参加者一人ひとりが、それぞれに抱えた悩み苦しみを語り合うことができ、法友との場では本音で語り、それを受け止めてもらえる大事な場であることを実感しました。

ご講師の方々には、よく「皆さんは本当の真宗門徒になっていますか？」と問われます。上杉氏もおっしゃっていただきましたが、私が思うには、難しいですが心をふらず念仏をもうす生活をするということでしょうか。分からないから仏法を聴聞し、それが問いになり、日々の生活の中でその問いを確かめていければと思いました。



講義の様子 於旧御堂

次回、女性研修会は、2017年5月30日(火)に新潟市東区上木戸の常明寺様を会場に「新潟地区女性研修会」開催いたします。是非、有縁の皆さまのご参加をお待ちしております。

■ 仏青交流研修会 感想報告

第19組 玄證寺 藤田賢哉

4月12日、僧侶で臨床心理士の松下弓月先生をお招きし、「臨床心理学をグリーンケアに活かす―儀礼とその心理学的意義―」という講題のもと、仏青交流研修会が開催されました。

死の希薄化で、葬送のかたちが大きく変化している死の現状に言及され、「死」というストレスにどう対処していくかという方法を示されました。

講義の中で、参加者全員が2つの作業を体験しました。1つは、何をストレスと感じ、それをどう対処したかということ

をシートに記入して、視覚的に自分の特徴を把握するコーピング。

もう1つのロールレタリングは、自分から誰か相手へ手紙を書き、次にその相手から自分自身に対して応答の手紙を書く作業です。

グリーンケアというと、悲嘆に暮れている誰かに、どう対処するかに主眼があるように思いましたが、まずは自分自身がストレスにどう反応し、対処する者なのか、自分が体験することが大切だと思いました。そこから、相手ならどう感じるか、という相手への関わり方を考える段階につながるのではと感じます。

教務所からのお知らせ

◎情報をお寄せください

教区教化研修計画 教化重点項目「報恩講」の取り組みとして、特徴的な活動をされているお寺を皆様にご紹介したく思っております。自薦・他薦問わず、ぜひ三条教務所駐在教導 西山までご紹介ください。

また、報恩講の繁盛に向けた課題や悩みもご相談ください。教化委員会における報恩講活性化プロジェクトの企画検討項目として報告させていただきます。

◎告示

三条選管告示第21号

2017年4月24日

三条選挙区選挙管理会

去る2017年4月24日施行の教区会議員選挙の当選者が下記のとおり決定したので、教区会議員選挙条例第31条第1項により告示する。

記

1 当選人の氏名

吉藤 廣麿	第10組	専超寺
永寶 和彦	第10組	浄敬寺
山崎 恵	第11組	浄福寺
遠藤 良法	第11組	福嚴寺
菊地 彰三	第12組	光徳寺
鷲尾 耕一	第13組	善行寺
日下部 文典	第14組	蓮壽寺
石塚 祐堂	第15組	長泉寺
土谷 恵淳	第15組	明覺寺
長田 暢	第16組	善興寺
吉藤 信彰	第17組	専福寺
関崎 幸孝	第18組	重蓮寺
林 秀邦	第18組	勝念寺
石川 満	第19組	満願寺
青木 仁	第20組	圓周寺
笠原 円秀	第21組	正福寺

以上

◎教区行事予定表 2017年

5/2(火)	14:00	院議会臨時会
5/6(土)	14:00	真宗学院
5/8(月)	14:00	連絡協議部会
	16:00	御坊市執行部会議 夏の集い執行部会議

5/9(火)	14:00	新潟同宗連総会
5/10(水)	14:00 16:00	社会広報部会(別院報恩講教化部) 教信信証輪読会
5/11(木)	14:00	教区会臨時会 教化センター
5/12(金)	14:00	教区門徒会臨時会
5/13(土)	14:00	真宗学院
5/16(火)	14:00	真宗学院指導会議
5/17(水)		～18(木) 高田・三条推進員交流会 (高田教区)
5/18(木)	14:00	教化センター
5/19(金)	15:00	後期教習反省会(第18組等運寺)
5/20(土)	14:00	真宗学院
5/21(日)		～22(月) 新任教師研修会
5/24(水)	14:00	企画委員会
5/25(木)	14:00	教化センター 別院報恩講実行委員会全大会
5/27(土)	14:00	真宗学院
5/30(火)		新潟地区女性研修会(第20組常明寺)

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

駐在教導のつぶやき

駐在教導 西山郷光
(第116号のダイジェスト)《坂東玉三郎さんが話された「型を倣い、型の心を倣い、そして型から自由になっていく境地」の言葉を通じて、西山は、念仏との向き合いの過去を思う》▼僕は三条に来る直前まで、約10か月という短い間だったけれど、三藤観映さんという先生のもとで書道を習っていた▼三藤先生は書道が大好きで、書道に真摯に向き合っておられる方で、僕にとってほとんど初めて「師匠という方はこういう方なんだな。とうとう僕にも師匠と思える方に巡り合えたな」と思わせて下さった方だった▼その三藤先生から、書道を習う型の一つ、手本をみて倣う書き方「臨書」を教わった▼(覚え違いがあるかもしれず申し訳ないのですが)臨書には「行臨」「思臨」「背臨」という3つの段階がある。「行臨とは、手本を見て、その形を倣う事」、「思臨とは、それを書した筆者の意図を汲み取り、その心・表現をも倣う事」、そして「背臨とは、お手本を見ずに手本のまま書せるようになる事」▼この「臨書」の心得を教わった時に僕は「たくさん練習して、はやく背臨できるようになりなさい、ということだな」と思い、先生にそう返した▼すると、先生はこう話されたのだった▼「いや、背臨ができるのは数少ない達人だけです。本当に道を究めた方しか背臨はできません。僕にもできません。」▼どうですか、すごい先生でしょう。はっきりおっしゃいました。「僕にもできません。」と▼先生は、書道はもとより、私にも真摯に向き合っておられました。感動と感激がありました▼さてさて、僕の感動はさておき、このお言葉は、とても大切に、とても恐ろしい事を教えてください▼僕は「そのとおりにできるようになる」ということを、きわめて軽く考えていたということである▼そして、さらに恐

ろしい事に、僕はその軽く考えた世界を前提に、あらゆる出来事を判断していたのだった▼先生のお言葉は、私の見做す世界の小ささと、そんな私をも包む世界の広さをはっきりとお示し下さった▼背臨ができるようになるろうとする自分、背臨という境地を軽く見做す自分、どちらも滑稽に見えるほど小さな自分だ▼わが身・わが心の小ささを思い知れば思い知るほど、阿弥陀如来の「まかせよ」という呼びかけでもある南無阿弥陀仏の深みもまた、そのように開かれてくる▼「ただ、念仏すべし」。この「ただ、」という素朴な言葉の重さと深さを、また思わせていただいたことだった▼南無阿弥陀仏

新潟親鸞学会からのお知らせ

第13回 大会ご案内

今年の大会(国府大会)は下記のように開催されます。

大会は①会員総会②会員研究発表③記念講演の3部構成になっており、そのうち記念講演は一般市民にも公開されます。

このたびの記念講演には阿満利磨(あま としまろ)先生をお迎えします。先生は今春筑摩書房から『日本精神史』を上梓され、先日新潟日報紙に書評が掲載されるなど、いまホットなお一人です。ぜひこの機会にご聴講ください。

なお、会員の皆様には準備の都合上、別送案内状の返信ハガキで5月27日(土)までにお申し込み願います。

記

日時 2017年(平成29年)6月6日(火) 午後3時より
会場 浄土真宗本願寺派 国府別院
〒942-0082 上越市国府一丁目7番1号
TEL 0255-43-2742

講題 「人はなぜ宗教を必要とするのか」

講師 阿満利磨(あま としまろ)先生

【講師プロフィール】1939年京都市の西本願寺派末寺の長男として生まれる。京都大学教育学部卒業。1962年4月NHK入局。教養番組のチーフ・ディレクター等を経て、1987年4月明治学院大学国際学部教授になる。「仏教文化論」「日本文化論」などを担当。2006年3月依願退職し名誉教授に。この間、「イースタン・ブディスト」の編集委員を務める。退職後、同志と「連続無窮の会」をつくって雑誌『連続無窮』を発行。著書／『日本人はなぜ無宗教なのか』ちくま新書・『無宗教からの『歎異抄』読解』ちくま新書・『親鸞からの手紙』ちくま学芸文庫・『親鸞』ちくま新書・『無宗教からの『歎異抄』読解』ちくま新書・『無量寿経』ちくま学芸文庫・『日本精神史』筑摩書房など多数

聴講料 ¥500-(会員無料)

◎一般市民の来聴歓迎

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com